

2. 子どもたちへの学習教室および合宿活動の提供

グループ名 NPO 法人ユースコミュニティー

代表者 濱住 邦彦

① 活動の目的

経済的なハンデを抱える子ども達が、満足な教育が受けられず、安定した職業に就くことができない「貧困の連鎖」が社会問題となっています。そうした中、困窮世帯の子どもへの学習支援を毎週定期的に行っています。

また、子どもたちの家庭には余裕がなく、旅行に行くような機会がほとんどありません。そこで2年前より年一回の合宿活動も実施しています。費用は地域からの寄付で賄ってききましたが、今回貴財団の助成を希望いたします。

② 活動概要（合宿の様子）

8/13・14 一泊二日の夏合宿を神奈川県にある「愛川ふれあいの村」に行ってきました。集合は京急蒲田駅。みんな眠い目をこすりながらもぞろぞろと合流してきます。



電車とバスそして徒歩で約2時間。途中横浜駅で相鉄線に乗り換え、海老名から本厚木駅まで小田急線に乗り換え、最後に本厚木駅からバスで宮ヶ瀬ダムまで行きます。



合宿場である愛川ふれあいの村までは宮ヶ瀬ダムから徒歩40分ほどですが、いったんダムでカヌー体験遊びです。周辺は観光地でもありお店もたくさんありました。最終確認をし・・・いざ水面へ！優雅な白鳥たち？の写真です。(クラシック音楽が流れていた・・・)



ダムに降り立つ前に記念撮影。



降り立ったところからはフェリーでダムの反対側にわたります。

ダムの管理棟までいき、しばし休憩を兼ねた自由行動時間に。



ちいさな展示スペースもあり、いろいろと楽しく学べたり遊べたりしました。
下から見上げるダムもまたすごい。



なんだかCDジャケットみたいです。山道に近いような坂を上ったり下ったりしながらようやく到着しました。

まずは入村式（オリエンテーション）



「普通のホテルとは違って、自分たちのことは自分たちで行います」と係の方が教えてくれました。ベットメイキングも大切。宿舎は団体で借りたバンガローです。



ひと段落したら夕食前のアクティビティーということで、焼きプレートづくりの体験です。板を焼くところだけは大人が汗水たらしながら？担当しました。焼けたら磨く！磨く！絵の具を使って、オリジナルのプレートづくり



そしてごはんをみんなで作って食べ、最後は「バンガロー殺人事件」というオリジナルのゲームを就寝前に楽しみました。二日目は、ふれあいの村の自然探索。事故もトラブルもなく、無事に終えることができました。充実した内容で、夏の思い出になる合宿活動を行うことができました。

活動助成をしてくださった大同生命厚生事業団の皆さま、心より感謝申し上げます。

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	200,000 円
支出	・学習教室の教師ボランティアへの交通費（内訳）教室までの電車・バスの交通費 延べ 150 人×500 円	75,000 円
	・合宿時の交通費（内訳）合宿場所までの電車・バスの交通費 大人と子供計 26 人分	82,004 円
	① 京急蒲田駅～本厚木 鉄道利用 34,720 円	
	② 本厚木～宮ヶ瀬 バス利用 19,230 円	
	③ レンタカー 20,304 円	
	④ フェリー移動 7,750 円	
	・合宿時の食材費（内訳）屋外 BBQ やカレー作りなど、集団で調理する食材費（4 食分）大人と子供計 26 人分	52,102 円
	・合宿時の施設利用料（内訳）公的施設の合宿所の利用料金、カヌー利用・クラフト製作のワークショップ費含む 大人と子供計 26 人分	72,610 円
	合 計	281,716 円